



体 育 祭



第 122 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校 P T A

令和 5 年12月18日 発行

時代に合わせて 子供と共に成長を



PTA 会長
伊藤友佳子

平素より、本校 P T A 活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

早いもので二〇二三年も残すところあとわずかになりました。みなさまにとつてはどのような年でしたでしょうか。

八月に宮城県仙台市で開催された高等学校 P T A 全国大会にて仙台大学の氏家靖浩教授と仙台育英高校の野球部監督須江航先生の講演を拝聴させていただきました。情報量が多い現代の子供達に対して私達大人は自分自身も情報を集めて狭い価値観にとらわれる事なく考え方を变えていく必要があると仰っていました。子供達が何を求め、どう思っているのかアンテナを張り子供の様子を見極めながら分かり易い言葉で丁寧に説明をする心の穏やかさも大切との事です。日常生活の中でついつい口うるさくなってしまいがちな【心の穏やかさ】は難しいのかもしれませんが時代の变化と共に子育ての向き合い方も変わってきているのだと感じました。

そして、須江先生の「人生は敗者復活戦」という言葉は、難しい年ごろの子どもを持つ保護者の子育ての緊張を和らげてくれました。たとえ失敗してもその先には自己成長と新たな成功が待っていると前向きに捉えて子供達と共に成長出来れば幸せですね。

学校行事や 部活動での学び



校長
磯村幸彦

残暑は長く、秋は短いという気候がここ数年顕著になってきました。P T A 会員の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

コロナの感染は収まらず、さらにインフルエンザの流行も早くから始まった中、何とか文化祭と体育祭をコロナ流行前の形に近づけながら実施することができました。文化祭では、工夫を凝らした企画も多く、見ごたえのあるものになってきたと思います。保護者の方の参観も再開し、大勢の方が来校されました。文化祭での P T A 役員・委員の方によるゲーム等の出し物や体育祭でのジュース販売は好評で、大勢の生徒たちが足を運んでいました。学校行事を通して、多くの生徒の成長がみられ嬉しく思います。また、修学旅行は十月の末に今年も予定通り実施することができました。生徒は沖縄で多くのことを見て、感じて、学び、とても意義深い修学旅行となりました。

授業を中心とした学習が最も大切なのは言うまでもありませんが、学校行事や部活動を通して、「自ら考え行動する力」や「他者と協働しながら困難な課題を克服していく力」をつけていくと思います。最後になりましたが、保護者の皆様にはお健やかに良い年を迎えられますよう心から祈念いたします。

P T A 活動報告

本年の秋は通常の行事に加えてエルウッド校の短期訪問も復活しました。その中で多くの P T A の皆様のご協力によって充実した活動を行うことができました。球技大会と体育祭では、文化委員によるジュース販売が行われ、大盛況のうちに終えることができました。文化祭では、総務委員による「駄菓子すくい」、進路指導委員による「先生クイズ」が行われ、多くの生徒が来店し、楽しそうにゲームをしていました。昨年に引き続き、環境委員による花壇の花の植え替えが七月と十一月に行われ、季節に合った色とりどりの花を植え付けました。九月、十月、十一月の毎月一回、生徒指導委員による交通安全指導が行われ、登校する生徒に声掛けを行っていたことができました。

八月二十五日(木)と二十六日(金)に、高 P 連全国大会宮城大会が宮城県仙台市で開催されました。開会式後の分科会では、仙台大学の氏家靖浩氏による「強く生きるための多様性とコミュニケーションの光」自己肯定感と逆境から立ち上がる力をはぐくむ」の講演に参加しました。日々多くのストレスに囲まれる高校生に対して、保護者・教員は大人として何ができるかという内容で、パネルディスカッションでも保護者・教員・生徒の三者から様々な意見を聞くことができ、生徒への声掛けの参考になりました。

ました。大会二日目は、仙台育英学園高等学校の硬式野球部監督である須江航氏による「伝わる言葉」失敗から学ぶ」というテーマでの講演でした。高校野球指導者としての指導法や失敗した生徒への声掛けなど具体的な状況を挙げて話されています。

十月末に姉妹校であるエルウッド校の生徒二十一名・教員四名が一週間の短期訪問を行いました。本校生徒のご家庭にもホストファミリーとして一週間エルウッド校の生徒を受け入れていただきました。また、P T A 委員・役員の皆様に遠足・浴衣の着付けにご協力いただきました。

P T A 役員会も感染防止を務めつつ、六月と九月の二回行うことができました。本年度は、文化祭と体育祭を保護者見学可能にしたところ、大変多くの保護者の皆様にご来校いただきました。今後、どのような活動をおこなうことができるか保護者と学校がともに考えていきたいと考えています。



国際交流報告

エルウッドカレッジ短期訪問団を迎えて
十月二十七日から十一月二日までの一週間、約五年ぶりにオーストラリアの姉妹校から生徒二十一名、引率の先生四名が本校を訪れました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、しばらく中断していた交流再開は感動的でした。

歓迎式典では、生徒の司会、吹奏楽部の演奏、ダンス部の発表でもてなしました。エルウッド側もサプライズクイズを準備しており、正解者にはカンガルーのぬいぐるみをプレゼントしてくれました。元フットボール選手の副校長、ウィル先生が、キックでぬいぐるみを渡すなど、オーストラリア式の楽しい式典



になりました。また、P T A 役員の方々に浴衣の着付けをして頂き、エルウッド生は大喜びでした。共に過ごした時間は決して長くはありませんでしたが、温かい思い出が残る久しぶりの交流になりました。



A F S 留学生報告

スイスからの留学生、コシマさんは沖繩への修学旅行に参加し、クラスの友達とますます親交を深めたそうです。日本語もかなり上達し、楽しい学校生活を送っています。また、A F S 架け橋プログラムで、アメリカからの留学生が一年生に入ります。本校の生徒との交流を楽しみにしています。

2023年度 エルウッド短期訪問団報告

- 受け入れを体験して、最も大切なのは言葉ではなく、伝えようとする気持ちなのだ、ということがわかりました。(1-4 藤田さん)
 - 最初はホストファミリーがむしろ嫌でした。しかし自分の気持ちが変わっていきました。言葉の壁を越えて、自分の思いが相手に伝わる楽しさを知りました。(1-4 小田さん)
 - 日本に来ることを楽しみにしていた留学生のために事前に連絡を取り合いました。留学生の嬉しそうな表情を見た際に、今までにない達成感を覚えました。この体験を通して、相手の意見を受け止め、自分の考えを言葉にする力が身についたと思います。(3-6 大隅さん)
 - 伝えたいことが伝わらないこともありましたが、伝わった時、言い表せない感動がありました。これは言語が異なる人と関わらなければ、味わえない感覚でした。(2-6 河本さん)
 - 最初は話も続かず不安でした。時間とともに話が弾み、夕食も話しながら食べていたら、1時間半があっという間に経っていました。(1-2 本城さん)
 - 僕は言語の違う学校に入った時の不安と恐怖を身に染みて感じているので、少しでも助けになりたいと思い、受け入れを決めました。僕にとって当たり前のことが珍しく楽しかったようで、それが面白かったです。(1-6 村松さん)
 - 英語が苦手でも最初は乗り気ではありませんでしたが、寿司を食べたり、名古屋城に行ったり、良い思い出ができました。(2-6 沖谷さん)
 - 伝えようといういろいろチャレンジしたことが楽しかったです。あらためてスラスラ話せるようになりたいな、と思いました。(1-3 古本さん)
 - ホストファミリーとして、家族も様々な準備やおもてなしをしてくれて家族のありがたみも感じる機会となりました。
- ★苦勞されたこともあったと思います。ホストファミリーの皆さん本当にありがとうございました。(柴崎)



(写真提供協力 1-1 加藤さん・1-4 小田さん)



エルウッドカレッジ生からのメッセージ

I felt a little homesick at times but the family was lovely and made me feel so welcome and included.

(時々ホームシックになったけれど、家族の皆さんはとてもステキで、家族の一員として受け入れてくださっていると感じました)

I am very grateful to the people who helped us with the yukata, all the hairstyles were so pretty!!

(浴衣を着せてくださった皆様にとっても感謝しています。ヘアセットもして頂き、とてもかわいかったです)

I was impressed by how welcoming the students were and how they wanted to talk to us.

(生徒の皆さんが熱烈に歓迎してくれたことや話しかけてくれたことが本当にうれしかったです)

Host family were so nice and always made sure I was comfortable in their home. The food was also amazing!

(ホストファミリーは優しく、気遣ってくれました。ご飯もおいしかったです!)

令和5年度 後期生徒会役員紹介

会長

二年二組 浅田 梨央奈

副会長

二年一組 宇賀田 彩花

書記

二年六組 木津 歩美

書記

一年四組 相木 奏太

会計

一年五組 阿部 和柚



修学旅行

特別な三日間

二年一組 濱島 結

私は修学旅行を通して、様々なことを経験し、多くの思い出を作ることができました。一日目は戦争に関係する場所を訪れました。私が特に印象に残ったのはガマです。もっとしつかりとした洞窟を想像していましたが、そこにあつたのは真つ暗な狭い空間でした。当時の人々がこのような場所でも何日も過ごしたことを考えると、本当に怖かっただろうなと思いました。私はこれまで、戦争について、授業で聞き、教科書の写真を見るだけで、あまり実感が湧きませんでした。しかし、実際に現地に行き、戦争に関する資料を見たり話を聞いたりして、沖縄での戦争の悲惨さを学びました。二日目は美ら海水族館に行き、その後はマングローブカヤックを体験し、沖縄の自然に触れることができました。三日目は修復工事中の首里城を訪れ、釘を使わずに木材を組み立てる貴重な様子を見ました。私は建築分野に関心がありますが、その技術力の高さに驚くばかりでした。その後、国際通りに移動し、お土産を選びながら友人と回りました。修学旅行はとても楽しく、充実していたと同時に、あつという間の三日間でした。一緒に過ごしてくれた友達や先生方に感謝したいです。



る資料を見たり話を聞いたりして、沖縄での戦争の悲惨さを学びました。二日目は美ら海水族館に行き、その後はマングローブカヤックを体験し、沖縄の自然に触れることができました。三日目は修復工事中の首里城を訪れ、釘を使わずに木材を組み立てる貴重な様子を見ました。私は建築分野に関心がありますが、その技術力の高さに驚くばかりでした。その後、国際通りに移動し、お土産を選びながら友人と回りました。修学旅行はとても楽しく、充実していたと同時に、あつという間の三日間でした。一緒に過ごしてくれた友達や先生方に感謝したいです。



かけがえのない思い出

二年五組 山川 瑛士

僕にとって沖縄への三日間の修学旅行は絶対に忘れられないものになりました。

一日目はガマの見学や、平和記念資料館や平和の礎などを訪れ平和について学習しました。目を背けてしまいそうなのほどの凄惨な現実を学び、ガイドさんの強い意志のこもった話を聞き、魂が揺さぶられるような想いを感じました。今を生きている私たちは夢を持ち、それに向かって行動できるということを痛感しました。

二日目の海洋体験では、美しい海はもちろんのこと、あたり一面が水平線の絶景を見た時はまるで海賊になったかのような気分になり、沖縄の自然を体感できました。

三日目の国際通りではお土産を買うなど、沖縄を満喫できました。ホテルでは友達との楽しい時間を過ごし、絆をより一層深めることができました。あつという間に過ぎてしまった三日間を通して「マスクをつけなくてもいい」という、失われていた日常を取り戻した中で修学旅行に行き、みんなで笑い合えたことがこの上ない幸せだと感じました。



文化祭



初めての最高の文化祭

一年六組 森 風乃花

今回の文化祭は私にとって初めての文化祭でした。中学の時は文化祭と言えるようなものがなく、正直どのようなものかよくわからなかったです。しかし、少し不安な気持ちと楽しみな気持ちがありました。私たちのクラスでは、みんな何をしたいのかわからず、文化祭準備前日でも、どのように教室を作り変えるのかも、何が必要かわからなかったです。限られた時間の中で、クラスのみんなで協力して準備を進めていきました。

今回の文化祭で一番印象に残っていることは、生徒だけでなく先生方も一緒に楽しんでいたことと、学年、クラスに関係なく全員がどのクラスの出し物にも全力で楽しんでいったことです。普段あまりかわることのない先生方や先輩、他クラスの人とも交流できる貴重な機会になりました。また、文化祭準備の二日半で、今まであまり話したことのないクラスメイトとも話すことができ、よりクラスのきずなを深めることができましたと思います。

今回の文化祭を通して、高校の楽しさと、みんなで団結していいものを作り出すことができる楽しさを知りました。

体育祭



最高の体育祭

三年四組 佐野 由依

今回の体育祭は私たち三年生にとって最後の体育祭であると同時に卒業前の最後の大きな行事でした。

私たちのクラスは総合優勝という目標を掲げ、一致団結して頑張りました。私は4×100mリレーに出場しました。決勝には進んだものの、4位という結果に終わってしまっていて、とても悔しい思いをしました。ですが前日にメンバーみんなで忙しい時間を縫ってバトン合わせをしたり、声をかけ合いながら一緒に頑張ったりしたことはとても良い思い出です。またクラスで参加したみんながジャンプでも、練習時はあまり跳べなかったのに、本番で過去最高記録を出すことができ、皆と一緒に頑張ることができてよかったと思います。目標にしていた総合優勝には届きませんでしたが、3位という結果を残せて嬉しかったです。

部活対抗リレーにも、所属していた陸上部の引退前のリレーメンバー全員で出場しました。結果こそふるわなかったものの、二年間楽しい時も苦しい時も一緒に走り続けてきた仲間と最後にもう一度バトンを繋ぐことができ、本当に幸せでした。

今年は新型コロナウイルスの影響が少なく、制限もなかったため、保護者の人も含め全校生徒の大きな声援がグラウンド中に響いて、昨年よりも体育祭自体が盛り上がりつつあったように感じ、私にとって最高の体育祭になりました。来年から三年生はそれぞれの道でまた再スタートを切りますが、全力で頑張って支え合った経験を糧に努力し続けます。

最後になりますが、体育祭運営に関わってくださった先生方、生徒会や各委員会、部活動の皆さん、最高の体育祭をありがとうございました！

令和5年度 部活動試合結果 (夏季休業以降～)

陸上競技 (男子)	<愛知県高等学校知多尾張1年生陸上競技会 兼 ジュニア記録会> 100m 7位 山口、走り高跳び 6位 中川、砲丸投げ 4位 橋本 4×100m 1位 北條・美濃輪・古田(龍)・飯田 4×400m 1位 飯田・山口(雅)・古田(龍)・北條 <愛知県高等学校新人体育大会陸上競技知多支部予選会> 総合 2位・トラックの部 3位・フィールドの部 優勝 100m 1位 北條、3位 古田(龍) 県大会：北條 8位 200m 2位 美濃輪、3位 古田(龍)、400m 2位 美濃輪、400mH 5位 山口(雅) 4×100mR 1位 北條・美濃輪・古田(龍)・飯田 4×400mR 1位 北條・山口(雅)・古田(龍)・美濃輪、走高跳 2位 高倉、4位 中川、5位 浅田 走幅跳 4位 飯田、6位 藤田、三段跳 1位 北條、3位 浅田 県大会：北條 8位 砲丸投 4位 橋本、6位 内田、円盤投 3位 橋本、やり投 2位 登澤	
(女子)	<愛知県高等学校知多尾張1年生陸上競技会 兼 ジュニア記録会> 走高跳 1位 古田(な) <愛知県高等学校新人体育大会陸上競技知多支部予選会> 総合4位・フィールドの部 2位 800m 6位 濱島、走高跳 1位 古田(な)、走幅跳 2位 對間、3位 古田(な)、三段跳 1位 對間	
硬式野球	<秋季高校野球知多地区大会> 1勝2敗 <全尾張高等学校野球選手権大会知多地区予選> 2回戦敗退	
バレーボール (男子)	<全日本バレーボール高等学校選手権大会知多支部予選会> 1回戦 敗退	
(女子)	<全日本バレーボール高等学校選手権大会知多支部予選会> 1回戦 敗退	
バスケットボール (男子)	<全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会> 1次トーナメント Bブロック2位	
ソフトテニス (男子)	<愛知県高等学校新人体育大会知多地区予選会> 団体 6位 有働・石川 ベスト16	
(女子)	<愛知県高等学校新人体育大会知多地区予選会> 団体 6位、個人 2位 服部・千葉、ベスト16 小木・江川 <国民体育大会ソフトテニス競技少年の部知多地区予選会> 個人 2位 服部・千葉	
卓球 (男子)	<愛知県高等学校新人体育大会卓球競技知多地区予選会> 2回戦 敗退	
弓道 (男子)	<愛知県高等学校弓道選抜大会 知多支部予選会> 個人 4位 松浦	県大会出場
(女子)	<愛知県高等学校弓道選抜大会 知多支部予選会> 個人 5位 成岡	県大会出場
剣道 (男子)	<知多地区大会> 団体3位 <新人体育大会知多地区予選> 決勝トーナメント 1回戦敗退	
(女子)	<知多地区大会> 1回戦敗退 新人体育大会知多地区予選 予選リーグ敗退	
バドミントン (男子)	<新人体育大会名南・知多支部予選> 団体 2回戦敗退 個人ダブルス 田中・松井組 ベスト32 <全知多バドミントン大会> 団体 3回戦敗退(第5位)	
ハンドボール (男子)	<愛知県高等学校ハンドボール選手権大会知多支部予選会> 1回戦敗退 <知多地区高等学校ハンドボール選手権大会> 1回戦敗退 <知多支部ハンドボール1年生大会> 1回戦敗退 <愛知県高等学校新人体育大会ハンドボール競技知多支部予選会> 1回戦敗退	
サッカー	<全国高校サッカー選手権大会愛知県予選> 2回戦敗退(県ベスト32)	

冬青121号の訂正 6ページに掲載いたしました令和5年度部活動試合結果において、バドミントン部男子の結果に誤りがありました。「個人 西川・河合 ベスト16」となっておりますが、誤りでした。大変失礼いたしました。